

創立 50 周年によせて

同窓会長 小藤 秀樹（2 期生）



神奈川県立旭高等学校は 2023 年に創立 50 周年を迎えることができました。同窓会都筑会としても大変嬉しく思います。この日を迎えることができたのも、開校以来学校を支えてくださいました地域の皆様、保護者の皆様、学校関係者の皆様のおかげと感謝申し上げます。

旭高校の同窓会は一期生が卒業された 1976 年に結成されましたが、学校が 30 周年を迎えるころには活動の低迷から一度解散をしています。そのため 2013 年の 40 周年記念の時に同窓会は無く、学校と共に祝いすることはできませんでした。当時の近藤校長から「50 周年は同窓会も共に祝いしてほしい」という呼びかけもあり、その時の PTA 会長が 2 期生だったことから、2 期生を中心に同窓会再結成に動き出しました。約 2 年の準備期間を経て 2015 年 3 月に結成総会を開催、新生「都筑会」が再結成されました。

結成当初の活動は手探り状態でした。まず何をするにも活動資金がありません。卒業生の情報は個人情報保護の関係で全く入手ができず、既卒者にはそれぞれの伝手を頼り、同期会や部活の OB 会などに伺い、再結成のお知らせと学校支援のための寄付を呼びかけました。

新生都筑会の設立趣旨は創立 50 周年記念をお祝いすることと在校生の学校生活を支援することにあります。「創立 50 周年実行委員会」の発足を機に卒業生約一万人に予算規模 10,000,000 円の寄付を呼びかけました。その結果、令和 4 年度にはグランドピアノと大型モニター（全教室に設置）、令和 5 年度にグラウンド照明設備・顕彰板・中庭バスケットゴールを寄贈することができ、新生都筑会としての役割が果たせました。快く寄付にご協力いただいた OB・OG の皆さんには心より感謝申し上げます。

計画期間 12 年の県立高校再編・統合計画は 2016 年から始まりました。旭高校は最終のⅢ期計画で対象校になり、2027 年に統合されることが決まりました。百校計画のトップバッターであった旭高校が再編計画のラストバッターになるのは歴史の巡り合わせでしょうか。統合により旭高校の歴史は一旦幕を閉じることとなります。同窓会も再結成以来の役目に終止符を打ち、新しい同窓会に引き継いでいければと考えています。

50 年前に新設校として生まれ今日までその伝統を紡いできた旭高校と同じように、新しい高校でも新たな歴史と伝統を築いていくことを願っています。

創立 50 周年によせて

PTA 会長 新井 好美



創立 50 周年を迎えられますこと、皆さまとともに心からお喜び申し上げます。また、記念すべき 50 年という節目の年を迎えることができたのも、これまでいろいろな形で本校を支えてくださった同窓会や OB 会の皆さま、そして地域やご関係の皆さまのおかげであり、諸先輩方のご苦労とご努力に厚く御礼申し上げます。

本校が 1973 年 4 月に開校した当時は、公立高等学校の数が 53 校と少なく、中学卒業生の急増と高校進学率の上昇に対応するため『高校百校新設計画』が策定されました。その記念すべき 1 年目に創立された歴史と伝統ある学校です。創立以来 50 年間に、数多くの卒業生を輩出されました。その中には世界的に活躍される著名人や、スポーツ・芸能などの分野で有名な卒業生も多くいらっしゃいます。その活躍は生徒たちの目標であり、地域にとっても大変誇りに感じていることと思います。

また、学業はもちろんのこと、部活動でも何度も全国大会に出場するなど素晴らしい成績をおさめており、これも『文武両道』の校風があってこそのものであると感じております。

2020 年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令、これまで経験したことのないような生活環境がしいられました。学校生活にも大きく影響し、臨時休校そして分散登校など不安定な時期が続きました。その中で生徒は、「学校生活の中で仲間たちと過ごすことの大切さや学校で学ぶことのありがたさ」を感じた事でしょう。

2022 年、3 年ぶりに一般公開された都筑祭では、生徒自身で考え運営をして、この様な状況でも安全に行うために話し合わせ、大成功のうちに終えることが出来た事は生徒たちの自信につながったのではないのでしょうか。

現在の状況は、少子化に伴い長年存続してきた学校が統廃合され、新たな局面を迎える学校も少なくはないと思います。本校においても県立高校改革基本計画により 2027 年に統合を迎えますが、引き続き変わらぬ愛情とご支援を頂きます様、お願い申し上げます。

文末になりますが、本校の 50 周年を祝し、全ての関係者の方々のご発展を心よりお祈りいたします。